

2023年度後期		知の市場(シラバス)						継続新規				
科目No.	関連講座GH578d	科目名	持続可能な日本への制度論(4)				副題	少子高齢化社会における財源問題を検証しつつ持続可能で豊かな社会を考える				
連携機関名	社会技術革新学会	水準	基礎	教室定員	0	配信定員	30	講義日時	第4水曜日21:00～23:00	拠点 (開講機関)	リモート・横浜南 (知の市場)	
科目概要(300字)	少子高齢化により社会保障費は膨張しているが、そのための財源は不足し、日本は巨額な公的債務を抱えている。労働や社会保障に係る制度の現状と課題を考察した前期の続編として、財政面の現状と課題を整理し、財源の確保について考察する。その上で、資本主義経済の抱える課題を抽出し、制度面から課題の解決策を考察し、「持続可能で豊かな社会」の実現に向けた方策を考察する。											
科目構成	No.	講義	講義概要(150字以内)					講義日	開講場所	講師	講師	所属
日本経済の現状と課題	1	日本経済の現状と課題(後期の検討課題の抽出)	前期には、「存在価値」と「機能価値」の原則を基に雇用制度に社会保障制度を整理し、その中で雇用制度に的を絞り議論してきた。前期の復習も兼ね、日本社会の抱えるリスクを整理し、後期に議論すべき持続可能な日本に向けた制度面からの課題を抽出する。					2023/10/25	Zoomを活用してリモート開催。	勾坂行男	勾坂行男	社会技術革新学会 会員
財政政策と財源確保	2	日本の財政の現状と課題	財政問題を概観するに当たり、金融の基礎を解説する。 コロナ禍で日本の公的債務残高は一層悪化し、先進諸国中最悪である。税収では賄いきれない支出を、今後、このまま国債の発行により補っていくことはできない。日本の財政の現状と課題を整理し、解決のために何をすべきかを考察する。					2023/11/22				
	3	財源確保に向けた税制の現状と課題	大企業や富裕層による租税回避の問題が、クローズアップされている。増税は経済成長を鈍化させるとの見方もあるが、格差問題を概観すると資産格差が大きく、金融資産所得に対する税制は優遇されており、富裕層に有利である。適切な税収は社会保障財源のために必要であり、現行制度をどのように変革すべきかを考察する。					2023/12/27				
持続可能で豊かな社会	4	AI時代の働き方の現状と課題	コロナ禍によって労働者が二分されていることが明らかになった。所謂エッセンシャル・ワーカーとオンラインで業務が可能なワーカーである。今後、AIやロボットの導入が加速させるに従い、この傾向は更に強まる中で働き方はどう変わるのかを検証し課題を整理し、どう備えればよいのか考察する。					2024/1/24				
	5	資本主義経済の現状と課題	経済成長を基盤にした資本主義経済は、地球の有限性や成長主義が内在する外部性のリスクにより限界にきていると言われている。こうした現状と諸説を検証しつつ、果たして成長を犠牲にせずに定常な社会は可能なのか考察する。					2024/2/22				
	6	持続可能で豊かな社会を求めて	「持続可能で豊かな社会」とはどのようなもので、それはどう実現すればよいのか考察する。 講師によるたたき台と参加者の具体的な提案を踏まえて、本講義の総括として論議する。					2024/3/27				